

## BRTバス 一ノ関駅直通でJRと協議

戸羽市長

一般質問で藤倉議員は、BRTバス計画について、「鉄道復旧はならなかったが、市内運行や一ノ関駅直通などの地元要望をJR側に」と質問。戸羽市長は、「7月からJRと協議を開始。新幹線駅へ矢作経由のルート実現に向け働きかけたい」と今後の決意も示しました。

陸前高田駅＝竹駒駅＝陸前矢作駅＝(笹の田峠・摺沢)＝一ノ関駅

## 伊勢議員 サケ刺し網漁もできるように



伊勢議員は、本市漁業の重要な資源であるサケ漁を取り上げ、「漁業者の暮らしのためにも、サケ刺し網漁が岩手県でも許可されるよう県に意見を伝えるべき」と市長に求めました。戸羽市長は、「漁業者と漁協が合意すれば、市としても働きかけできる」と答えました。

**学校教育** 不登校やいじめ問題の現状をもとに一人ひとりが大切にされる学校の大切さを訴えました。また、震災後大切な役割を果たしているスクールカウンセラー配置の拡充を求めました。(伊勢議員)

**法人立保育園** 市独自の補助金は年2千万円。保育士採用に努めている保育協会へ支援拡充を求めました。(藤倉議員)

**交通指導員** 長年の努めや、後継者難など苦勞の多い交通指導員の人たちへ手当などの拡充を提起しました。(藤倉議員)

## 財政状況

財政状況について、藤倉議員が質問。市当局では、「予算規模は大きい、国の復興交付金事業を有効に活用し、新たな借金はあまりしていない。実質公債比率も下がっている」と答え、今後、復旧された公共施設等の運営費等の検討が必要との考えを示しました。

## 一般会計決算の状況

平成27年度決算資料から

区分	平成年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
歳入決算額		121億円	512億円	1,112億円	1,316億円	1,089億円	663億円
歳出決算額		118億円	452億円	1,033億円	1,256億円	1,054億円	644億円
歳入歳出差引額		3億円	60億円	79億円	60億円	35億円	19億円
市債残高		144億円	136億円	128億円	124億円	123億円	123億円
実質公債比率		18.2%	18.0%	17.7%	17.3%	15.5%	14.1%

※実質公債費比率 自治体の収入に対する借金返済の割合。3年間の平均で18%以上になると都道府県の許可、25%以上は起債が制限され、一般的に数値が低いほど財政が健全といわれる。

## 日本共産党三市議の9月議会報告

一般質問や特別委員会等での活動を報告します。



伊勢 純市議

大坪涼子市議

藤倉泰治市議

全国一の市民の納税協力 伊勢・藤倉議員

## 国保税軽減や地域交付金を提案

国保会計決算は千二百万円の黒字、国保財政調整基金は4億2千万円余となりました。伊勢議員は一般質問で、本市の被災世帯税減免や医療費免除を継続していることに敬意を表しつつ、その上で国保基金や国の新たな財政支援(1700億円)をもとに国保世帯全体の軽減を取り上げました。市長は「今後の国の特別調整交付金や広域化がどうなるか。引下げは難しい。総合的に判断したい」と答えました。

また、藤倉議員は委員会で、国保税収納率が長年97%を超え全国一になっていることにもふれ、各地域の納税組合や町内会などの活動への交付金などを提案。市長も「検討」と答えました。

## 来年4月オープンへ 大型商業施設着工

図書館は来年6月下旬開館予定



A棟 専門店街(鉄骨)・図書館(木造) 7,014 m<sup>2</sup>  
 B棟 食品スーパー(鉄骨) 7,724 m<sup>2</sup>  
 C棟 衣料量販店 3,305 m<sup>2</sup>

## 安心できる介護を 大坪議員

選挙後になって一気に要介護1・2の人まで介護保険から外そうとする安倍内閣。大坪議員は一般質問で、深刻な介護問題を質問。市の計画にある「西部地区に介護施設を増設」の見通しを聞きましたが、市の答弁は、「公募しているが、事業者からの提案がまだない」ということでした。

昨年から大幅にアップした介護保険料の再来年の改定について「抑制に努める」との回答。寝たきり等の在宅介護の家族手当(月6千円)の対象拡大も求めました。



しんぶん 赤旗

日刊紙 月3,497円  
 日曜版 月823円  
 見本紙もお届けします

日本共産党 陸前たかた民報 2016年10月